

第7節 美術・文学館課

〔総括概要〕

美術・文学館課の主な分掌事務は、栃木市立美術館及び栃木市立文学館の管理運営及び展示、美術作品・文学作品等の調査・研究等、教育普及活動などである。

栃木市立美術館は、令和4年11月3日に開館し、開館を盛り上げるために実施したキックオフ・プロジェクトの成果展「1トンになる タムラサトル」及び「とちぎを藍で染める」、高精細複製画 喜多川歌麿「深川の雪」、「品川の月」、「吉原の花」及び喜多川歌麿の肉筆画《女達磨図》《鍾馗図》《三福神の相撲図》の展示を行った。

栃木市立文学館は、令和4年4月27日に開館し、本市ゆかりの作家である山本有三、吉屋信子、柴田トヨの三人を中心とした文学に関する展示や市史に足跡を遺した先人たちの紹介、旧栃木町役場に関する展示を行った。

とちぎ歌麿館では、喜多川歌麿浮世絵版画の復刻版等の展示を行い、喜多川歌麿と栃木のゆかりについて情報発信を行った。

学芸関係では、民間の倉庫会社に保管していた収蔵品を美術館収蔵庫に移動した。また、ふるさと・ひと・ときを結び、未来をつくるミュージアムとして、令和5年度に開催する開館記念展「明日につながる物語」と関連企画の開催準備を進めた。

総務係

1 栃木市立美術館・文学館等の入館者数

(1) 栃木市立美術館

| 開館日数 | 入館者数 |
|------|---------|
| 99日 | 10,539人 |

※開館日は令和4年11月3日～令和5年3月5日（入館無料）

(2) 栃木市立文学館

| 開館日数 | 入館者数 | うち有料入館者数 |
|------|---------|----------|
| 281日 | 17,550人 | 3,625人 |

(3) とちぎ歌麿館（入館無料）

| 開館日数 | 入館者数 |
|------|--------|
| 290日 | 3,160人 |

2 栃木市立美術館・文学館運営協議会

美術館・文学館の運営を円滑に行うための運営協議会を開催した。

- ・委員数 10名（うち公募委員2名）
- ・任期 令和3年7月1日から2年間

| 開催日 | 内容 |
|----------|---------------------------|
| 8月10日（水） | ・開館式の式典及び記念イベントスケジュールについて |

| | |
|----------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業の状況について ・令和5年度事業計画について |
| 9月21日（水） | <ul style="list-style-type: none"> ・栃木市立美術館・文学館賛助会員制度について |
| 2月22日（水） | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業実績について ・令和5年度事業計画について ・栃木市立美術館・文学館賛助制度について |

3 栃木市立美術館・文学館サポーター（運営ボランティア）

運営ボランティアとして、栃木市立美術館・文学館サポーターに展示監視、イベント補助等の活動に参加いただいた。

・登録人数 66人

| 活 動 内 容 | 活 動 人 数 |
|-------------------|---|
| 美術館・文学館 展示監視業務 | 美術館 延べ185人（11月3日～3月5日） 文学館 延べ164人（8月1日～10月31日） |
| イベント・講演会等 補助業務 | 延べ25人 |
| チラシ等発送業務 | 延べ5人 |
| 植栽管理業務 | 延べ16人 |

学芸係

1 栃木市立美術館・文学館展示関係

(1) 栃木市立美術館

令和4年11月3日の開館に向けて、市民と一体となって開館への期待を高めるために市民参加型のプログラムとしてキックオフ・プロジェクト「1トンになる」「とちぎを藍で染める」などを開催し、また令和5年4月から開催する開館記念展の準備を進めた。

ア キックオフ・プロジェクト

(ア) 学芸員による連続講座

学芸員による連続講座（美術館、日本画、洋画、工芸、教育普及、文学館）を全6回開催した。

- ・実施日 5月1日、8日、15日、21日、28日、29日
- ・会場 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室
- ・参加人数 延べ122人
- ・講師 美術・文学館課職員5名

(イ) 空とぶくじらがやってきた！

- ・実施日 5月5日、11月6日
- ・講師 國學院大學栃木短期大學准教授 名取初穂氏
- ・参加人数 延べ80人

(ウ) 「1トンになる」

栃木市内6ヶ所で市民参加のプログラムを実施した。

- ・実施日等 7月27日 武蔵太鼓(岩舟)
- 8月3日 針谷畳工業(西方)
- 8月8日 盤峰園(大平)
- 8月30日 國學院大學栃木高校ラグビー部(栃木)
モランゴ栃木FC(都賀)
- 9月3日 渡良瀬の里(藤岡)
- 11月5日 美術・文学館ひろば(栃木)
- ・講師 タムラサトル

(エ) とちぎを藍で染める 講師・監修 名取初穂氏

| | | |
|----------------------|-------|--------|
| 第1回藍の種まき | 5月5日 | 累計134人 |
| 第2回藍の生育観察・藍の色の話と色づくり | 6月12日 | |
| 第3回藍の葉のたたき染め | 7月3日 | |
| 第4回藍の生葉染め | 7月24日 | |
| 第5回染料を使った藍染め | 8月7日 | |
| 第6回藍の葉たたき染め | 8月21日 | |
| 第7回ぶどう染め | 9月11日 | |
| 第8回ぶどう染め | 10月2日 | |
| 第9回藍の種の収穫 | 11月6日 | |

イ ワークショップ等

(ア) 喜多川歌麿 高精細複製画「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」ギャラリートーク

- ・実施日 11月26日、12月17日、1月22日、2月19日
- ・講師 美術・文学館課職員
- ・参加人数 延べ40人

(イ) 「スタンプで藍染めもようづくり」

- ・実施日 1月22日、29日、2月5日、11日、12日、19日、23日、26日、3月5日
- ・参加人数 延べ75人

(ウ) 「藍染め毛糸でポンポンづくり」

- ・実施日 2月4日、18日
- ・参加人数 延べ11人

ウ 第1回栃木市立美術館専門者会議の開催

美術作品の購入及び寄附等の受入れに当たり専門者会議を開催した。

- ・開催日 令和5年2月21日
- ・場所 栃木市立美術館
- ・内容
購入作品 鈴木賢二《潮騒の女》昭和15年(1940)頃 ブロンズ

- 鈴木賢二《潮騒の女》昭和15年（1940）頃 石膏原型
 寄附作品 橋本邦助《夕月》大正2（1913）年 絹本着色・軸装
 橋本邦助《リス図》大正後期 絹本着色・二曲一双
 河井寛次郎《切子碗》昭和25（1950）年頃 陶
 河井寛次郎《鳥陶板》昭和25（1950）年頃 陶
 齋藤文石《花籃》昭和40（1965）年 竹
 川島汀蒲《中川一政『画にもかけない』より》平成30（2018）年
 紙本墨書・パネル

(2) 栃木市立文学館

令和4年4月27日に開館し、開館記念特別展を含む企画展を2回開催した。また、年間を通じて常設展（展示替えあり）を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

ア 常設展

栃木出身の作家である山本有三、吉屋信子、詩人の柴田トヨの各氏を中心に、市ゆかりの文学に関する常設展示を行う。（随時展示替えあり）

イ 企画展

(ア) 開館記念特別展 有三・信子・トヨの育った時代

- ・開催期間 4月27日～9月25日
- ・来場者数 3,164人（内 中学生以下171人）

(イ) 令和の大改修竣工記念企画展 旧栃木町役場庁舎 100年のあゆみ

- ・開催期間 10月8日～3月19日
- ・来場者数 2,252人（内 中学生以下238人）
- ・付帯イベント

| 事業名 | 開催日 | 参加者数(人) |
|--|--|---------|
| 学芸員によるギャラリートーク 全5回 | 10月22日、11月13日、 12月10日、1月15日、 2月18日 | 延べ14 |
| ガイドツアー「市内の歴史的建造物巡り」 講師：観光ボランティア | 12月18日 | 17 |
| 講演会「栃木市の近代建築 ～旧栃木町役場庁舎～を中心に」 講師：小山工業高等専門学校名誉教授 河東義之氏 会場：キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室 | 1月29日 | 37 |

ウ その他イベント

| 事業名 | 開催日 | 参加者数(人) |
|-----|-----|---------|
|-----|-----|---------|

| | | |
|---|----------------|-----------------|
| キックオフ・プロジェクト ワークショップ「ロボー・ストーンズ大作戦！」 会場：キョウトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室 講師：美術・文学館課職員 | 4月2日 4月3日 | 92 |
| ～文学館で名曲を～ 前田みねり ヴァイオリンコンサート 出演：前田みねり氏（ヴァイオリン） 高際悦子氏（ピアノ） | 4月27日 4月29日 | 27 50 |
| ～文学館で名曲を～ 高橋由紀 フルートコンサート 出演：高橋由紀氏（フルート） 平田侑氏（ピアノ） | 7月24日 | 50 |
| クリスマスミニコンサート 出演：県立栃木女子高等学校コーラス部 | 12月18日 | 出演者 21 観客 50 |

(3) 栃木市立美術館及び文学館の PR

4月から専用ホームページを開設し、情報提供を開始するとともに、引き続き SNS 公式アカウント（Twitter、Facebook、Instagram）を運用した。そのほか、FM くらら 857 や広報とちぎにおいて美術館・文学館の収蔵品と美術館の開館記念展の紹介を行い、美術館・文学館の活動をアピールした。また、美術館・文学館施設案内リーフレットを作成し配布した。

2 喜多川歌麿関係

とちぎ歌麿館

「とちぎ歌麿館」に喜多川歌麿の複製画や復刻版などの資料を展示し、喜多川歌麿と栃木市に関する情報発信を行った。

- ・展示内容 喜多川歌麿復刻版
 市所蔵肉筆画「女達磨図」「鍾馗図」「三福神の相撲図」複製画
 古久磯提灯店見世蔵の説明及び関連資料 等